

国語科の学習について（第3学年）

1 国語科の目標

- 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使うことができるようにする。
- 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2 学習計画

1 学期	2 学期	3 学期
<ul style="list-style-type: none"> • 詩「春に」 • 随筆「立ってくる春」 • 随筆「なぜ物語が必要なのか」 • 小説「私」 • 読書「薔薇のボタン」 • 読書「構成を考えて主張をまとめる」 • 読書「なぜメディア・リテラシーは必要か？」 • 呉音、漢音、唐音 • 論説「A1は哲学できるか」 • 具体例をもとに説明文を書く • 熟字訓 • 和語、漢語、外来語 • 硬筆 • 文法の復習 	<ul style="list-style-type: none"> • 論説「async- 同期しないこと」 • 論説「問いかける言葉」 • 実用「実用文を読む」 • 古文「旅への思い」 • 古文「和歌の調べ」 • 漢文「風景と心情」 • 慣用句、ことわざ • 異字同訓 • 毛筆 書き初め • 俳句「俳句の味わい」 • 詩「初恋」 • 自己PR文を書く • 四字熟語 	<ul style="list-style-type: none"> • 総合「持続可能な未来を創るために」 • 生命とは何か • 意見を共有しながら話し合う • 小説「バースデーガール」 • 文法の復習 • 青春の歌 • やわらかな想い • 3年間を振り返って

3 評価の観点 評価の資料

観 点	学習活動及び評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> • 常用漢字を文や文章の中で正しく書いたり、読んだりする。（小テスト、定期テスト等） • 理解したり表現したりするための語句の量を増やし、慣用句や四字熟語などについての理解を深め、話や文章の中で使う。（小テスト、定期テスト、作文等） • 敬語を理解し、適切に使う。（小テスト、定期テスト、作文、発表等） • 日本語の特徴や、文の決まり（文法）を正しく理解する。（小テスト、定期テスト） • 歴史的な背景を理解して、古典を読み、その世界に親しみながら、時間の経過による言葉の変化や違いを理解する。（定期テスト等）
思考・判断・表現	<p>【話すこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 目的や場面に応じて、自分の立場や考えを明確にし、相手に自分の考えを分かりやすく伝え、説得できるように、話を構成するなど、工夫をする。（発表、プリント、話し合い活動等） <p>【聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価し、さらに自分の考えを広げ、深める。（発表、プリント、話し合い活動） <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 分かりやすい文章になるように、文章を組み立て、伝えたいことを明確にする。（プリント、定期テスト、作文等） <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 文章の種類を理解し、文章の構成や論理の展開、表現の仕方などを捉える。（プリント、定期テスト等）
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> • 粘り強く作業に取り組む。（観察、ワークシート） • 学習したことを生かして課題に取り組んだり、学習の見通しをもって課題に取り組んだりする。（観察）

